

1 主題名 素直に相手の意見を受け入れること B (11) 相互理解、寛容

2 教材名 「約束」 出典：「小学 道徳 ゆたかな心 5年」(光文書院)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目B(11)は「自分の考えや意見を相手に伝えとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。」をねらいとしている。人の考えや行動の背景は多様であり、その多様さをお互いに認め合い、理解しながら高め合う関係を築いていくことが大切である。高学年では、相手のものの見方や考え方の違いをそれまで以上に意識するようになり、考えや意見の近い者同士が接近し、そうでない者を遠ざけようとする行動が見られることがある。相手の立場に立って考えることや、素直に相手の意見を受け入れることの大切さについて考えることでよりよい人間関係を生み出そうとする道徳的態度を育てたいと思い、本主題を設定した。

(2) 児童の実態 アンケートによる実態調査(実施日 令和7年*月*日 *人)

1 あなたは自分と異なる意見や立場を尊重していますか？			
している	*人	どちらかというとしている	*人
どちらかというとしていない	*人	していない	*人
2 友達が約束を守れなかったらどうするか？			
許さない	*人	理由を聞く	*人
無視・怒るなど態度に表す	*人	気にしない	*人
謝ったら許す	*人		

実態調査から、本学級では自分と異なる意見や立場を尊重していることに対して半数を超える児童が否定的に捉えていることが分かった。さらに、友達が約束を守れないときには半数以上の児童が許さない、無視、怒るなど、相手の意見を聞かずに、接してしまうと回答した。

このような実態から、本主題を通して、相手の立場を考えることや素直に相手の意見を受け入れることの大切さについて考えることができるようにしたい。

(3) 教材について(「約束」 出典：「小学 道徳 ゆたかな心 5年」 光文書院)

本教材は、約束したことがそれぞれの事情で達成できず、二人の関係が崩れかけてしまう様子が描かれている。一方的な思い込みで相手を傷つけてしまうが、事情を理解し自分の行いを反省する陽菜と、理解してもらえて安心している結衣のやりとりから、相手の立場に立って考えるために考えや思いを伝え合うことや相手の意見を素直に聞くことの大切さに気付くことができるようにする。

二人のやりとりは、児童の日常生活の中でも起こり得ることが考えられるので、二人の行動や発言の背景について類似した場面や思いをしたことがないか問うことで、登場人物と自分を置き換えて考え、そのときの状況や思いを具体的にイメージできるようにする。また、相手の意見を素直に受け入れる大切さを理解したり、互いの違いを認め合い理解する大切さを考えたりすることで、よりよい人間関係を生み出すために自分ができることについて考える機会にしたい。

(4) 指導観

事前に「友達が約束を守らなかったら…」について問い、これまでの行動や考えを記述させ、具体的な場面を想像できるようにする。また、事前に教材を読み、中心に考えたい登場人物を決めておく。選んだ登場人物と自分を比較し、共感できる点や似ている点などを明らかにしておくことで、自分と登場人物を重ねて考えられるようにする。自分と重ねながら登場人物の気持ちや行動の理由など考える中で、道徳的価値の理解について具体的なイメージをもてるようにする。また、同じ人物を選んだ児童同士で意見を交

換させることで、言葉の裏側にある気持ちについて思考を広げ、違う人物を選んだ児童と意見を伝え合うことで、様々な考えがあることに気付くなど、相手の立場に立って考える大切さを理解できるようにする。終末では、導入の問いをもう一度問うことで、自分自身を振り返って、考えや行動を見直すことができるようにする。このように自分の選択した登場人物の心情を考えることを通して、相手の立場に立って考えることや相手の意見を受け入れる大切さを理解し、よりよい人間関係を生み出そうとする道徳的態度を育てたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

自分の選択した登場人物の心情を考えることで、相手の立場に立って考えることや相手の意見を受け入れる大切さを理解し、よりよい人間関係を生み出そうとする道徳的態度を育てる。

(2) 準備、資料

読み物資料、タブレット、大型モニター

(3) 学習指導過程

	学習活動と主な発問		予想される児童の反応	指導上の手立て、評価
導入	1 「友達が約束を守らなかったら…」について確認する。		・怒る ・文句を言う ・許さない	・日常の場面を想起させながら、発問について考えることで、これまでの自分を振り返り、自分との関わりで考えることができるようにする。 ・登場人物二人の気持ちを確認することで、怒りや不安が強いこと理解できるようにする。また、自分の選んだ登場人物を中心に考えていくよう伝える。
	2 あらすじを確認し、二人の状況や今の思いを捉える。 ○陽菜と結衣それぞれどんなことを思っているだろう。		陽菜 ・なんで約束を破ったの 結衣 ・なんで悪口を言ったの	
展開	3 教材について考え、話し合う。 (1)選んだ人物について考える。		陽菜 ・勘違いで嫌な思いをさせて申し訳なかった。 ・許してもらえるか不安だけど、謝らなくちゃだめだ。 結衣 ・私にも悪い所があったな。 ・わたしも悪口を言われて陽菜を嫌だなと思ってしまっていた。	・自分の選んだ登場人物を中心に考えていくことを伝えることで、自分の経験や考えと重ねて心情などを想像できるようにする。 ・登場人物に応じた発問を用意することで、ねらいに迫り、道徳的価値の理解を図ることができるようにする。
	陽菜 ◎「本当にごめん」の「本当に」にはどんな気持ちが込められているのだろう。	結衣 ◎「もういいよ。わたしも…ごめん。」の「わたしも」にはどんな気持ちが込められているのだろう。	・陽菜は結衣が大切だから勇気を振り絞って謝っていたのかもしれないと思った。 ・結衣は自分が伝えなければ	
	(2)同じ人物を選んだ児童と交流する。 ○陽菜と結衣が言った言葉に込められた気持ちにつ			・選んだ人物によって座る位置を指定し、同じ人物を選んだ児童とペアで意見を伝え合うことで、他の児童の

	いて交流してさらに考えてみよう。 (3)他の人物を選んだ児童と交流する。 ○陽菜と結衣が仲直りできたのはなぜだろう。 (4)自分事にして考える。 ○自分が選んだ人物に、今の思いを手紙で書こう。	いけなかったと反省していたと思っていたけど、結衣も悪口を書き込んだ陽菜に対して嫌な気持ちをもったのかもしれないと思った。 ・謝ったから仲直りできたと思う。 ・陽菜が勇気を出して謝ったことを結衣が気付いたからだと思う。 ・陽菜が怒ってしまった原因を結衣も理解でき、これからは生かそうとしたからだと思う。 陽菜 ・結衣が来なくて悲しかったんだよね。自分のしたことに後悔していると思うけど、これからも仲良くいられるようにしっかりと話をしていこうね。 結衣 ・私も結衣と同じように自分が思っていることを言えなくて後悔したことがあります。きっと話せばわかってくれるからしっかり話をするようにするといいよ。私も頑張ります。 ㊦：自分の選択した登場人物の心情を考えることで、相手の立場に立って考えることや相手の意見を受け入れる大切さを理解し、よりよい人間関係を築こうとしている。(発言、タブレット)	感じ方、考え方を自分と照らし合わせて考えることができるようにする。 ・自分に置き換えて考えることで、二人の関係がよくなった嬉しさを感じられるようにし、相手の立場を理解するという道徳的価値の理解につなげることができるようにする。 ・違う人物を選んだ児童と考えを伝え合うことで、相手の立場を理解し、相手の意見を聞く方がよりよい人間関係の構築につながることに気付くことができるようにする。 ・手紙が書けない児童には、対立の場面で出た「なんで約束を破ったの」「なんで悪口を言ったの」という言葉を活用し「はじめは、なんでも思っていたけど」につなげる内容を書かせることで、交流の中で自分の考えがどう変わったかなど自分を振り返ることができるようにする。
終末	4 自分自身を振り返る。 ○「友達が約束を守らなかったら…」について確認する。	・自分のことだけではなく相手には何があったのかを考えていこうと思う。 ・怒らないでいられるかは分からないけど、相手のことを考えられるようになりたい。	・導入と同じ発問をすることで、学習したことを踏まえて、自分のこれまで生活を見直し、これからの課題や目標を見つけられるようにする。

